


平成20年度「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	ものづくりの里レボリューション事業
対象地域	吉野町国栖地区
活動概要	<p>国栖地区は、吉野町の東の端に位置する山間地域で、清流吉野川と高見川が合流する「山」と「川」の自然の風景を満喫できる風光明媚な地域である。また歴史的にも『古事記』や『日本書紀』にも当地の記述があり、壬申の乱の時代に大海人皇子をこの地にかくまい、歌舞を奏した「国栖奏」が奈良県指定無形文化財になっている。また、『万葉集』にも歌われ、いにしえの歌人にも愛されるなど太古から歴史の舞台にも登場している。近年では谷崎潤一郎の小説『吉野葛』の舞台にもなっている。</p> <p>国栖地区は、山間の急峻な地形にあり耕地がほとんどないため、1300年の歴史をもつ手漉き和紙をはじめ、昔から製箸・木工などの家内制手工業が盛んに行われてきた。しかしながら近年の生活様式の変化に伴う、割箸や和紙の需要の減少や、誤った理解による割箸バッシングなどにより、これら地元主産業が衰退し後継者もほとんどいない状況である。住民も最盛期の3,213人から大幅に減少し現在では1,223人と1/3となり、一昨年には地域の幼稚園や小学校も廃園廃校となってしまった。65歳以上の高齢化率も40%と深刻な問題となり、空き家も増加し地域のコミュニティも崩壊しつつあり、地域の存続も危機的な状況にある。</p> <p>そこで、地域の伝統的な特色である「ものづくり」と、自然や歴史的な遺産といった地域の資源を再生し、地区に新しい観光産業を立ち上げる。またものづくり体験やホームページで、都市の人々との交流を深め国栖地域のサポーターとして地域づくりへの参加を求める。</p> <p>この事業の実施をとおして、地域の人々に、国栖人(くずびと)である誇りを取り戻し地域への愛着を深め、伝統文化を守り伝えていく心を育てる。また、国栖の里観光協会を中心に他の製造組合と連携し、地域の組織や団体と協力し地域を創造する新しい担い手を確立する。</p>
今年度の主な取組	<p>① ものづくり体験イベントにより、地域の歴史や自然や食を体感する、訪れる人と地域の人との交流イベントの開催。 ・東京表参道でのイベントに参加し手作り箸を中心に「ものづくり国栖の里」をPR。 ・廃園舎を利用し、ものづくり体験コーナーと国栖の歴史をテーマにする講演会を実施。</p> <p>② 地域を訪れる人が地域の自然と歴史に触れられるよう、地域を健康的で効率的に巡回できるウォーキングコースの策定。</p> <p>③ 各工房や名勝・郷土料理・イベント等の情報を発信・PRするホームページの作成。</p> <p>④ 体験イベントやホームページをとおして交流を深めた地域外の人々を国栖地区のサポーターと位置づける、地域づくりサポート組織の設置。</p>

活動結果	<p>ものづくり体験イベントの開催により、自治会との相互協力関係が生まれた。また、地域の次代を担う児童が、マイ箸づくり体験などにより、地域のものづくりを知るきっかけになった。さらに、イベントと同時開催の歴史講演会により、地域住民と学生等の都市住民双方が、国栖地域の歴史財産を再認識し、地域に対する誇りや愛着を深めた。吉野産品アイデア作品コンテストでは、イベント後に学生のアイデアを活かす商品開発を大学生と協議を重ねながら各工房が製作に取り組むなど、学生との新たな交流も生まれ、今後のものづくりに大きな支援となった。</p>
当初予想していなかった効果	<p>イベントを契機として、事業縮小していた工房の復活や取組に賛同する工房・事業所の増加が見られた。ものづくり体験の申込数や旅行会社の問い合わせの増加など、地域外との交流が大きく進展した。</p>
実施状況(写真)	 <p>【写真】ものづくり体験イベントでの紙漉き体験</p>
応募団体名	国栖の里観光協会
リンク	http://www.kuzunosato.jp/
部局／担当者名	事務局長 奥谷純子
連絡先	TEL / FAX 0746-36-6838
推薦市町村名	奈良県吉野郡吉野町